SONY®

4-079-358-**02** (2)

トリニトロン®
カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Trinitron

KV-24DA1/KV-28DA1

目次

見る

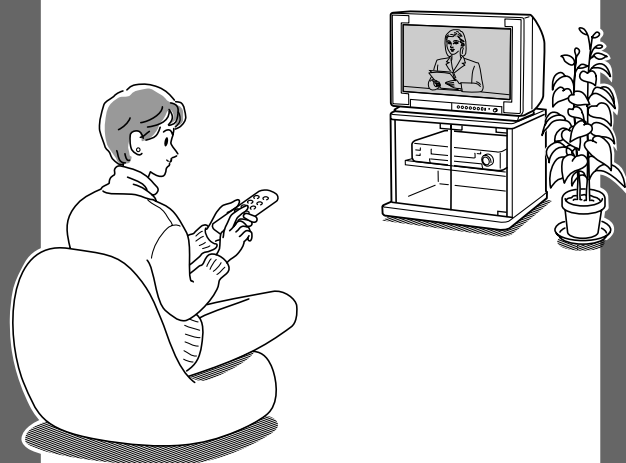
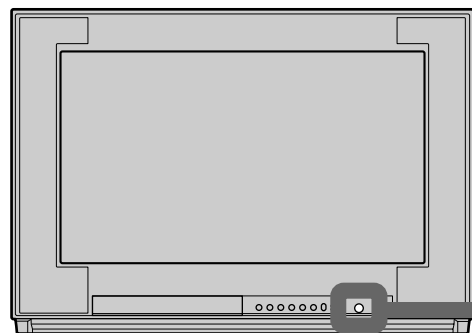
調整する／設定する

テレビの接続と準備

他機との接続

その他

見る

ここでは、通常のテレビをはじめ、ビデオやテレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
画質や音質を選んだり、節電しながら見たり、ワイド画面で見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。

テレビを見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

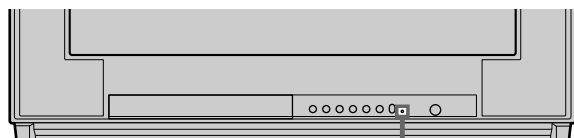
チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに約10分間以上置くと光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。

ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/−ボタン、ゲームボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能/ゲームポン機能）。
- 省電力のため、放送終了後、または放送のないチャンネルにしたままの状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。
また、つないだ機器からの入力信号がないときに、自動で電源オフをする設定もできます。（☞19ページ）
放送局の信号によっては「オートシャットオフ」機能が働かないことがあります。

1 テレビの電源を入れる。

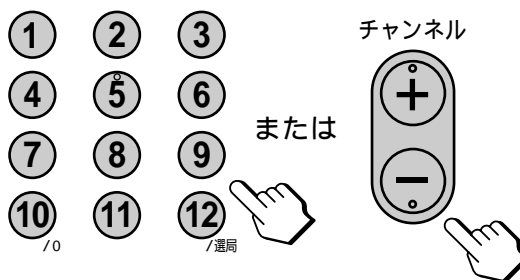
地磁気*などの影響を取り除く自動消磁機能により「ブーン」という音がして、きれいに安定させた画像が約10秒前後で映ります。

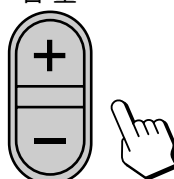
* 地球が一つの大きな磁石となって発生する磁場で、方位磁石が南北を示すのも地磁気によるものです。色むらの原因になることがあります。

スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

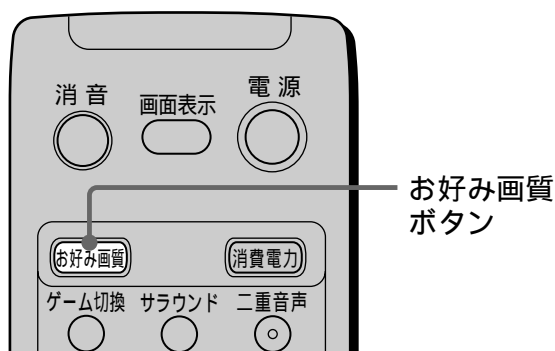
スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体の電源スイッチを押す。

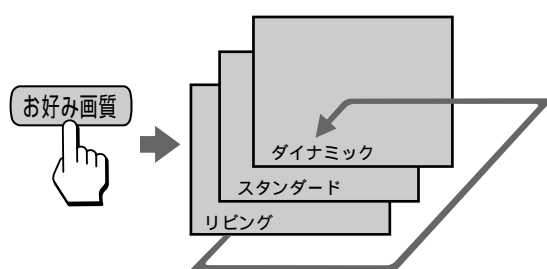
2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/−ボタンでもチャンネルを選べます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12/選局 または チャンネル + −

3 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言
音量表示の上にある数値も調節の目安になります。

画質を選ぶ
（お好み画質）

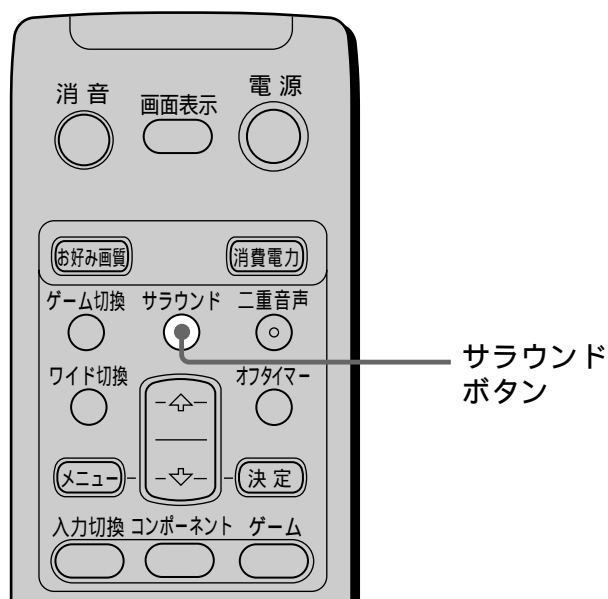
お好み画質ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。
また、「リビング」を選ぶと、画質をより細かく調整できます（☞15ページ）。
ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選ぶことをおすすめします。

お好み画質ボタンをくり返し押す。

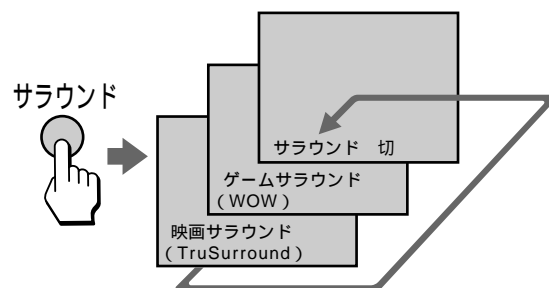
1回押すと、現在の画質設定が表示されます。その後押すたびに、次のように変わります。

ダイナミック
はっきりとしたメリハリのある画質になります。

スタンダード
標準的なコントラストとメリハリのある画質になります。

リビング
明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます（☞15ページ）。

サラウンドを楽しむ

サラウンドボタンを押して、ゲームや、映画に適した音質を選べます。
通常の音質は「サラウンド　切」を選ぶことをおすすめします。

サラウンドボタンを繰り返し押す。

１回押すと、現在のサラウンド設定が選択されます。その後押すたびに、次のように変わります。

「ゲームサラウンド（WOW）」

WOWの搭載により、豊かで質の良い低音とクリアな高音が再現でき、更にサラウンド効果によってゲーム・センターのような立体的で大迫力のゲーム音になります。
「ゲームサラウンド」では、BBEハイディフィニションサウンドがフル作動して、サウンドエフェクトを最大限に盛り上げます。

「映画サラウンド（TruSurround）」

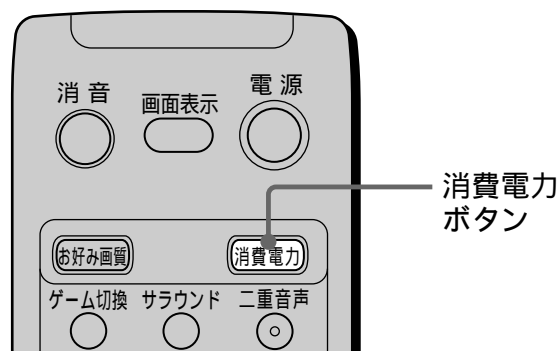
TruSurroundの搭載により、本機左右のスピーカーから映画館にいるような臨場感あふれる音を再現します。

ご注意

サラウンドボタンで「ゲームサラウンド（WOW）」や、「映画サラウンド（TruSurround）」を選ぶと、次にサラウンドボタンでサラウンド設定を選び直すまで、同じ設定が選ばれたままになります。目的にあったサラウンド設定を選ぶと、より効果的な音質を楽しめます。
「WOW」は米国SRS Labs社が独自に開発した最新技術を使うことにより、PCやゲーム機などの身の回りの多種多様な音響製品の音質を飛躍的に向上させます。
「TruSurround」とは独自の伝達関数を使った信号処理によって後方のスピーカーを仮想的に配置します。

節電しながら見る

（消費電力）

画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。

消費電力ボタンを押す。

節電中になります。

節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

ちょっと一言

- 「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力:減」のままになります。
- お好み画質で「リビング」を選んでいるときは、「消費電力:減」でも、画質を調整できます（☞15ページ）。ただし、「ピクチャー」や「明るさ」を上げると節電にならなくなる場合があるため、おすすめしません。

ワイド画面を楽しむ

自動でワイド画面にする（オートワイド）

通常のテレビ放送も、ワイドクリアビジョン放送や映画など横長サイズの映像も、下のイラストのように、本機が最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。これをオートワイド機能と言います。下の例では、お買い上げ時の設定*を示しています。

* お買い上げ時は、オートワイドの「2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています（☞12ページ）。

オリジナルの映像（映像の種類）　**画面モード**　**オートワイドの映像**

- **通常のテレビやBS放送（画面横縦比4:3）**

違和感少なく画面いっぱいに拡大します。

- **ワイドクリアビジョン放送（横縦比16:9）**
- **ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画（横縦比1.85:1）**
- **横縦比情報の入ったDVDソフトの映像（ID-1方式）**

画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。）

- **シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）**

画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。

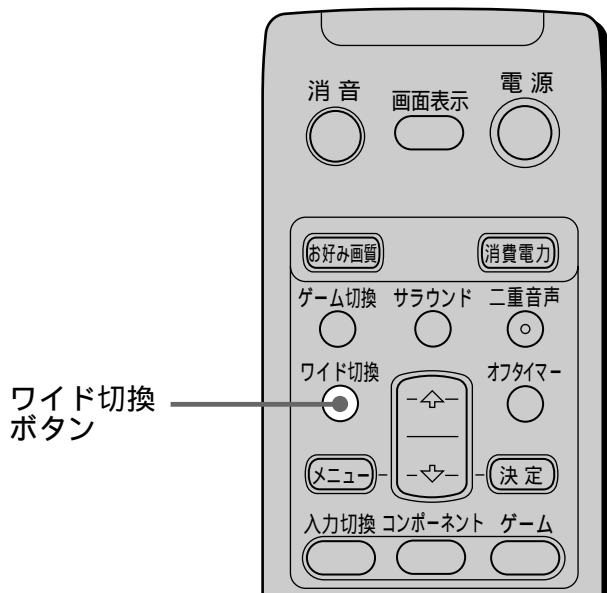
- **横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS1方式）**

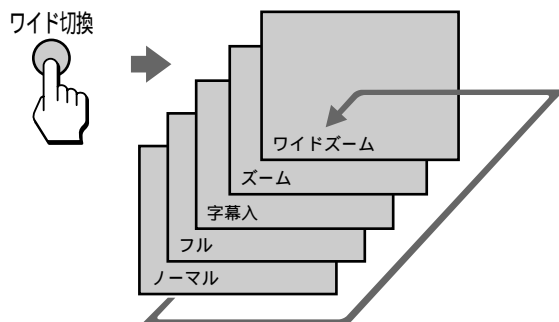
天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。

- **オートワイドの「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」（お買い上げ時は「ワイドズーム」）に設定したとき（☞12～14ページ）**

拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

手動でワイド画面に切り換える（ワイド切換）

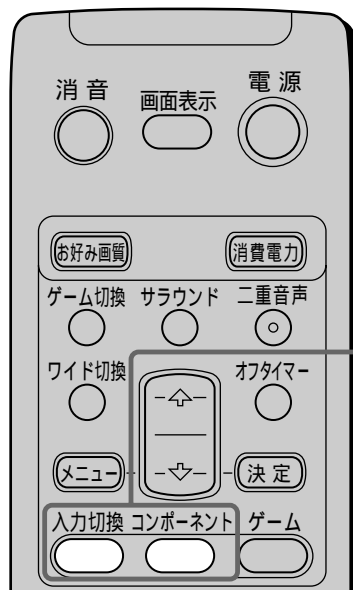
オートワイド機能とは別に好きな画面モードを手動でも選べます。また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。

ワイド切換ボタンをくり返し押す。

1回押すと、映像のサイズや種類に応じて、本機が最適な画面モードをすばやく選んで表示します*。その後、押すたびに、次のように画面モードが変わります。画面モードの詳しい説明については、☞8ページをご覧ください。

* オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」に設定しているとき（☞14ページ）は、ワイド画面にならないで、画面横縦比4:3の映像のまま（「ノーマル」のまま）になります。

ちょっと一言

手動でワイド画面を楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください（☞14ページ）。

テレビにつないだ機器の画像を見る（入力切換）

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やBSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、テレビゲーム、などの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞29〜37ページをご覧ください。

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
入力切換	• ビデオ1入力端子	ビデオ1*1
	• ゲーム/ビデオ2入力端子	↓ ビデオ2*1
	• ビデオ3入力端子	↓ ビデオ3*1
	• コンポーネント入力端子	↓ Dコンポーネント
	• AVマルチ入力（ゲーム）端子	↓ AVマルチRGB*2
		↓ チャンネル番号（テレビ）
コンポーネント	• コンポーネント入力端子	Dコンポーネント

*1 S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」、「Sビデオ2」、「Sビデオ3」と表示されます。
*2「AVマルチ切換」が「Y/CB/CR」の設定のときは、「AVマルチ Y/CB/CR」と表示されます。

次のページにつづく

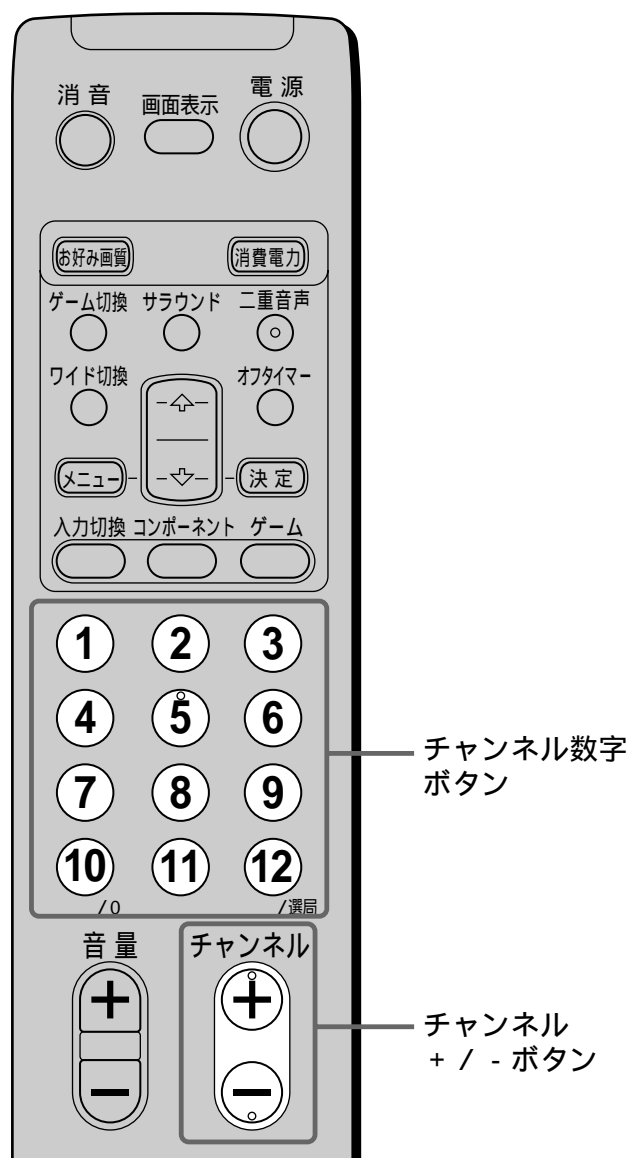
テレビにつないだ機器の画像を見る（つづき）

2 **接続している機器を操作する。**
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言
- 本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力を切り換えることもできます。
- テレビにつないだ機器からの信号がないままの状態（外部入力無信号状態）のときに、自動で電源をオフ（スタンバイモード）にすることができます。（☞19ページ）

ご注意
AVマルチ入力端子に“プレイステーション２”をつないでいるときに、入力切換ボタンを押しで“プレイステーション２”の画像に切り換えようとしても、画像がでないことがあります。
お買い上げ時は、“プレイステーション２”も本機も「RGB」の設定になっていますが、このときは、“プレイステーション２”側のシステム設定画面の「コンポーネント映像出力」が、「Y C_b/P_b C_r/P_r」に設定されていることがあります。
“プレイステーション２”のコンポーネント映像出力の設定に合わせて、本機の「AVマルチ切換」を「Y/C_B/C_R」に切り換えてください（☞35ページ）。

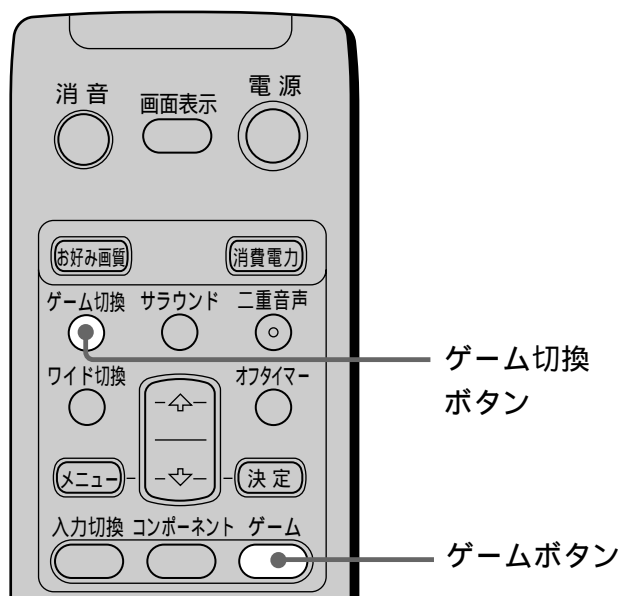
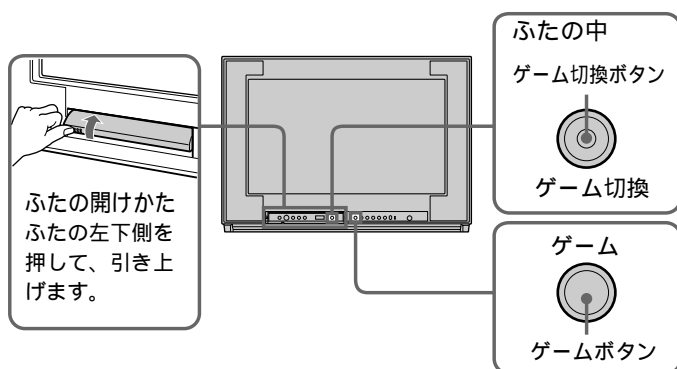
テレビ画面に切り換えるときは

チャンネル数字ボタンを押すと、選んだチャンネルのテレビ画面に切り換わります。
チャンネル＋／－ボタンでチャンネルを選んでテレビ画面に切り換えることもできます。

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/－ボタンを押す。

ちょっと一言
入力切換ボタンをくり返し押して、テレビ画面に戻すこともできます。

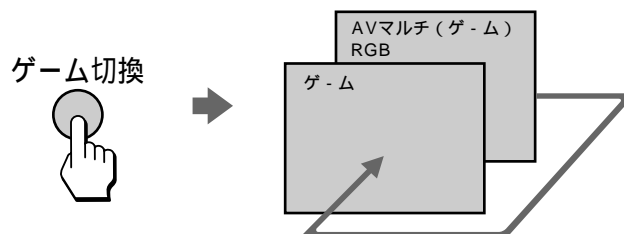
テレビゲームをする（ゲームポン）

本機前面のゲーム/ビデオ2入力端子やAVマルチ入力（ゲーム）端子につないだテレビゲーム機器の画像を、ボタンを押すだけで楽しめます。テレビゲームや“ プレイステーション 2 ”、“ プレイステーション（PS one）”および“ プレイステーション ”の取扱説明書もあわせてご覧ください。

“ プレイステーション ”は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
また、“ PS one ”は同社の商標です。

ゲームボタンを押す。

本体の赤いスタンバイ/オフタイマーランプが点灯していれば、自動的に電源が入り、最後に選んでいたゲーム画面が表示されます。

ゲーム入力とAVマルチ入力（ゲーム）を切り換えるには

ゲーム切換ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだゲーム機の画像に切り換わります。

ご注意
ゲーム切換ボタンで切り換えた「AVマルチ（ゲーム）RGB」、「ゲーム」のときは、オートワイドは働きません。

テレビの画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/－ボタンを押す。

ゲーム画面を消すには

ゲームボタンを押します。テレビはスタンバイ状態になります。テレビをスタンバイ状態にした後、ゲームボタンを押すと電源が入り、ゲーム画面になります。

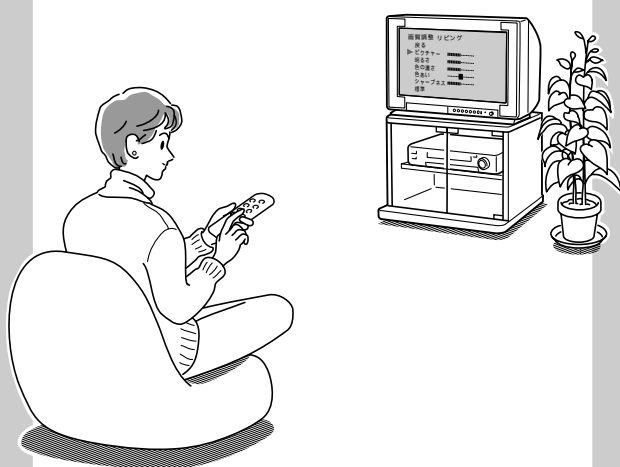
ゲームの画面の左右位置を調整するには

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「ゲーム画面位置」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で画面の左右位置を調整する。**
4. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ちょっと一言
- テレビやビデオなど他の入力映像を見ているときも、ゲームボタンを押すと、ゲーム画面に切り換わります。
- ゲームの画質調整は、テレビゲーム使用後も他の画質調整とは別にそのまま本体に記憶されます（☞15ページ）。

ご注意
「ゲーム画面位置」は、ゲーム切換ボタンで切り換えた「AVマルチ（ゲーム）」、「ゲーム」の画像のみ調整できます。

調整する/設定する

ここでは、画質や音質を調整する応用的な操作を説明しています。
本機に内蔵されているタイマーを使って、自動的に電源を切ったりする操作も説明しています。

オートワイドの設定を変える

オートワイドの設定について

オートワイドの設定には、「1」と「2」があります。

オートワイド「1」
テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送（4:3映像）には、映像を判別するための識別制御信号*[1]が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。
このような識別制御信号を判断して、**忠実に再現する**のが、オートワイドの「1」です。ただし、識別制御信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド「2」
次ページのように、識別制御信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイドの「2」です。

お買い上げ時はオートワイドの「2」（「4:3映像」の設定も「ワイドズーム」）に設定されています。

*[1] 識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
- ワイドクリアビジョン放送
- 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS1方式）
- 横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送
- D1入力端子からの横縦比情報の入った映像

映像の種類による「1」と「2」の画面モードの違い

映像の種類	画面モード	
	オートワイド「1」	オートワイド「2」
通常のテレビやBS放送	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったテレビ放送*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
映像中に字幕が入った横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ズーム」
映像の外に字幕のある横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「字幕入」
ワイドクリアビジョン放送*3	「ズーム」	
横縦比を16:9（「ズーム」または「フル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS1方式）*3	「ズーム」または「フル」	
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS1方式）*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2

*2 メニューで設定します（☞14ページ）。お買い上げ時は「ワイドズーム」になっています。
*3 識別制御信号（☞12ページ）の入った映像です。

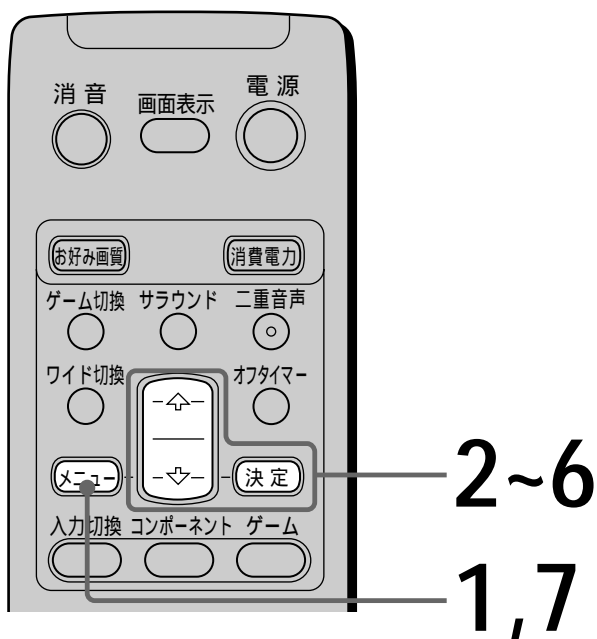
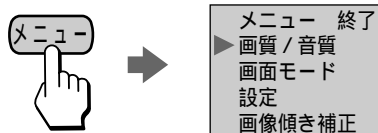
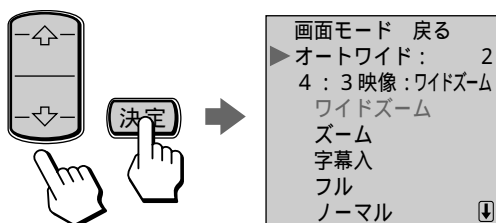
ちょっと一言
- ワイド切換ボタンで切り換えたあと（☞9ページ）などは、表のようにならないことがあります。
- オートワイドが働いているときにワイド切換ボタンを1回押すと（☞9ページ）、上記のオートワイド「1」、「2」にしたがって、オートワイドが働き続けます。
  その後、くり返し押すと、識別制御信号の有無により、次のようになります。
  - 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
  - 識別制御信号のない映像のときは、オートワイドを「2」に設定していても、オートワイドが働かなくなります。ただし、チャンネルや入力を変えたり電源を入/切したりすると、再び働きます。

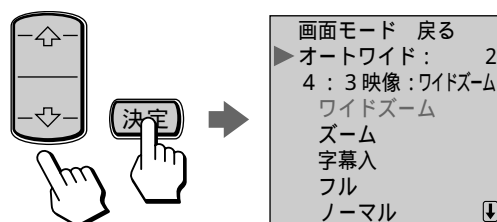
オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わるときは

- 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになる（☞8ページ）ためです。
- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断している（☞8ページ）ためです。

ワイド画面についてのご注意
- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、上下位置や縦サイズを調整してください（☞18ページ）。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

オートワイドを設定する/切る

オートワイドについての詳しい説明は、☞8ページをご覧ください。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **♠/♣で「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **「オートワイド」を選んでいることを確認して、決定ボタンを押す。**

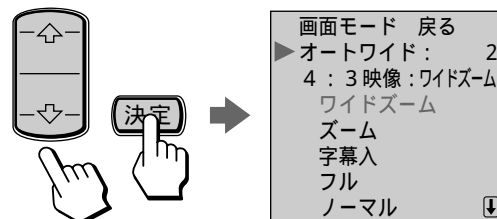
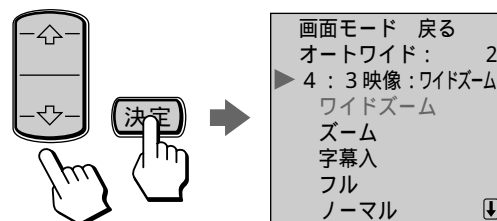
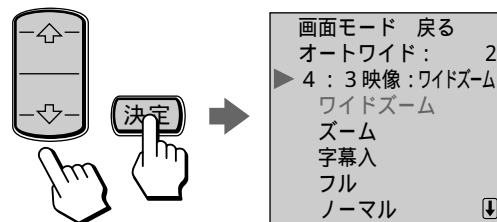
選ばれていないときは、♠/♣で選び、決定ボタンを押す。

4 **オートワイドを切るときは**

♠/♣で「切」を選び、決定ボタンを押す（手順7へ進んでください）。

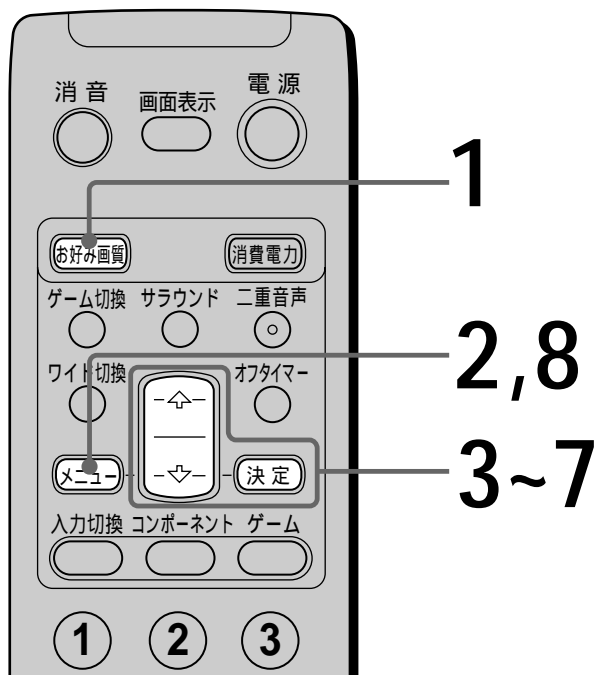
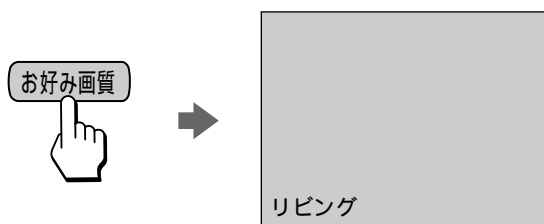
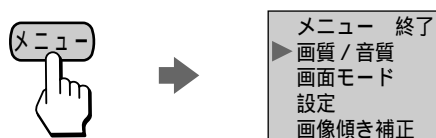
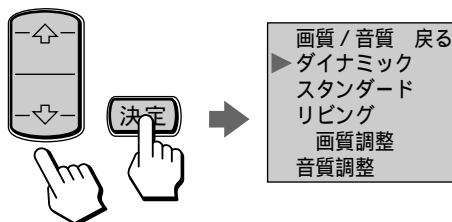
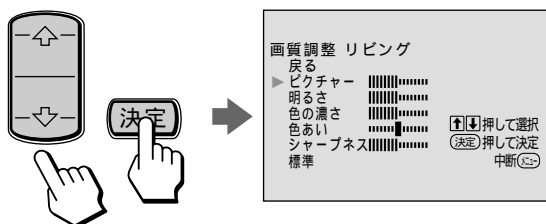
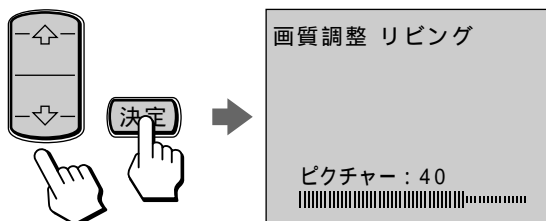
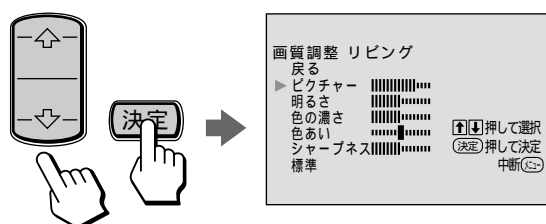
オートワイドを「1」に設定するときは

♠/♣で「1」を選び、決定ボタンを押す（手順7へ進んでください）。

オートワイドを「2」に設定するときは

♠/♣で「2」を選び、決定ボタンを押す。

5 **オートワイド「2」のときは、♠/♣で「4:3映像」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **♠/♣で「ノーマル」か「ワイドズーム」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

画質を調整する

お好み画質ボタンで「リビング」を選ぶ（☞6ページ）と、画質をより細かく調整できます。画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます。

1 **お好み画質ボタンをくり返し押して、「リビング」を選ぶ。**

2 **メニューボタンを押す。**

3 **↑/↓で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。**

項目	↑を押すと	↓を押すと
ピクチャー	明暗の差が大きくなる	明暗の差が小さくなる
明るさ	明るくなる	暗くなる
色の濃さ	濃くなる	薄くなる
色あい	緑がかる	赤みがかる
シャープネス	映像の輪郭がくっきりする	映像の輪郭が柔らかくなる

ちょっと一言

調節バーの上に表示される数値も調節の目安になります。

次のページにつづく

画質を調整する（つづき）

7 **他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。**

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

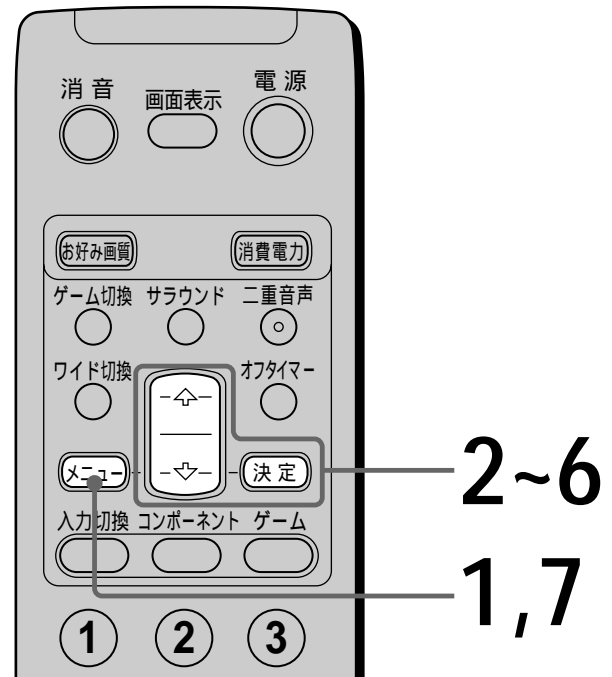
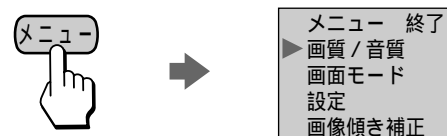
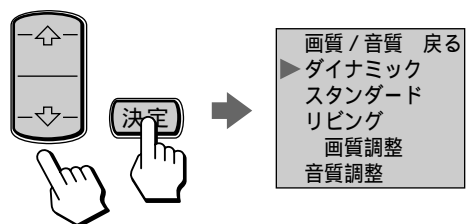
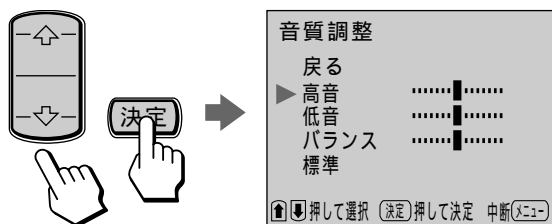
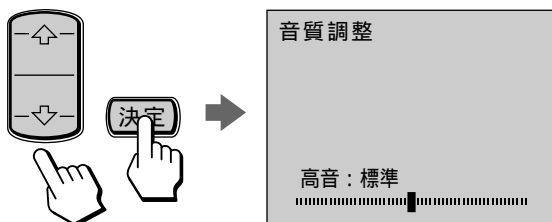
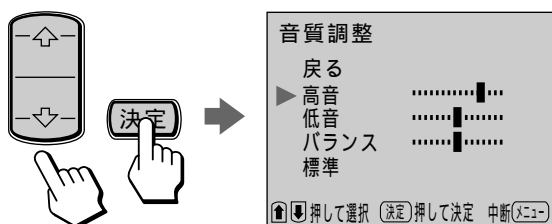
お買い上げ時の状態に戻すには

手順5で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- 「ダイナミック」と「スタンダード」（☞6ページ）では、画質調整できません。
- メニューの「初期設定」で、「AVマルチ切換」を「RGB」に設定しているとき（☞35ページ）は、「色の濃さ」と「色あい」、「シャープネス」は調整できません。

音質を調整する

音質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。**

3 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。

項目	↑ を押すと	↓ を押すと
高音	強くなる	弱くなる
低音	強くなる	弱くなる
バランス	右スピーカーの音が強くなる	左スピーカーの音が強くなる

ちょっと一言

調節バーの上に表示される数値も調節の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

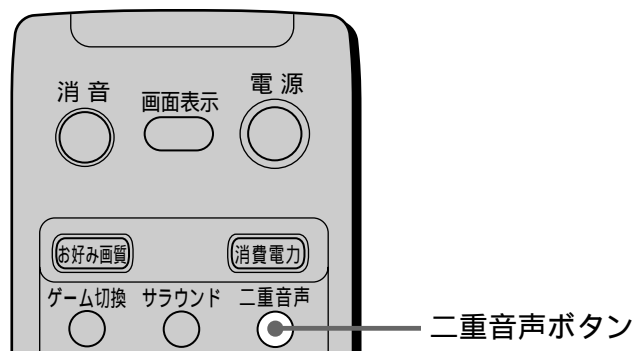
7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順4で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

音声を切り換える

（二重音声）

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声

左スピーカー（主音声）　こんばんは

右スピーカー（副音声）　Good evening.

10 主/副

例：「主/副」を選んだとき

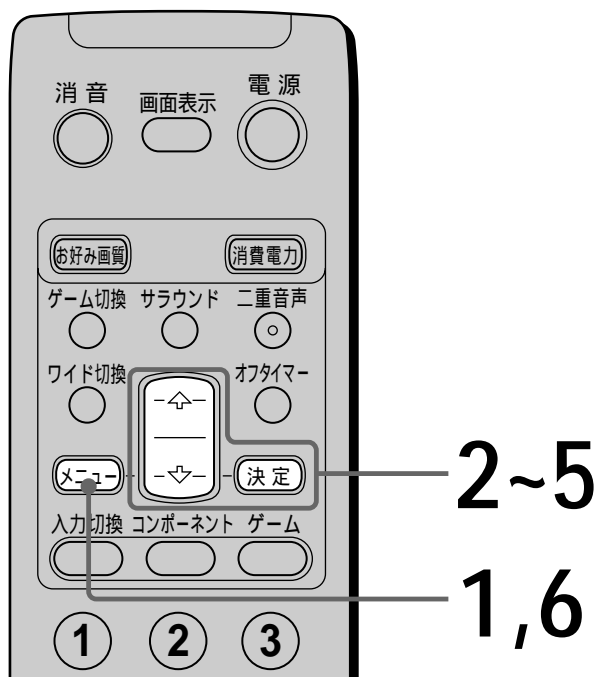
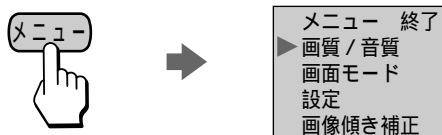
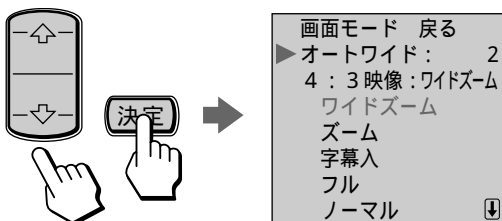
VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

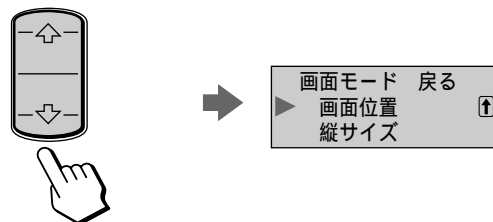
音声をモノラルにして、雑音を軽減できます。

1. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

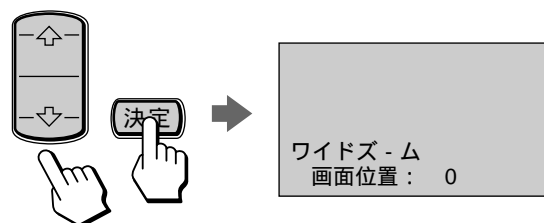
画面の上下位置/縦サイズを調整する

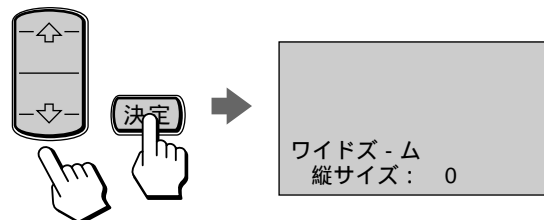
ワイド画像で次のようなときは、画面上下位置や縦サイズを、画面モード（☞8ページ）ごとに調整できます。
- 「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき
- 「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。

1 調整したい画面を映した状態で、メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↓を押し続けて「ノーマル」の下まで移動する。

「画面位置」と「縦サイズ」が表示されます。

4 ↑/↓で調整したい項目を選ぶ。

画面の位置を調整するときは

↑/↓で「画面位置」を選び、決定ボタンを押す。

サイズを調整するときは

↑/↓で「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整して、決定ボタンを押す。

画面の位置を調整するときは

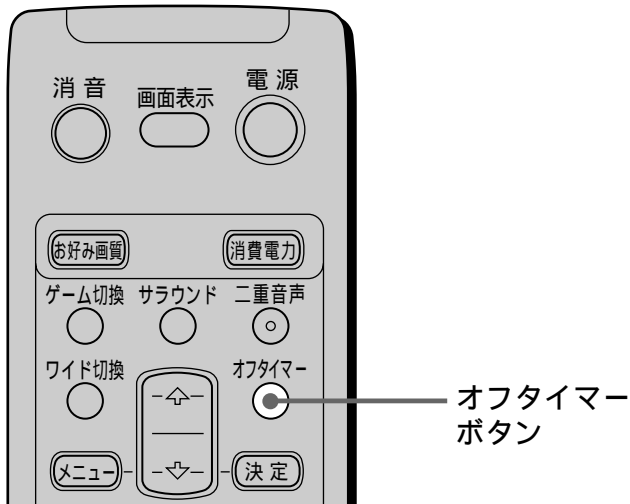
↑ を押すと	↓ を押すと
画面の位置が上がる	画面の位置が下がる

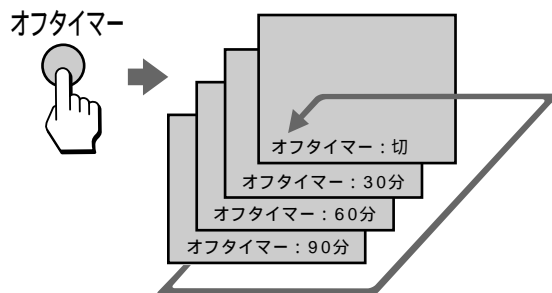
縦サイズを調整するときは

↑ を押すと	↓ を押すと
縦サイズが伸びる	縦サイズが縮む

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

自動で電源を切る
（オフタイマー）

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。

オフタイマーボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。

オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー：切」を選ぶ。

ちょっと一言

- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間（例:「オフタイマー：あと17分」）が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー：切」に戻ります。

つないだ機器からの入力信号がないときに自動で電源を切る（外部入力オートシャットオフ）

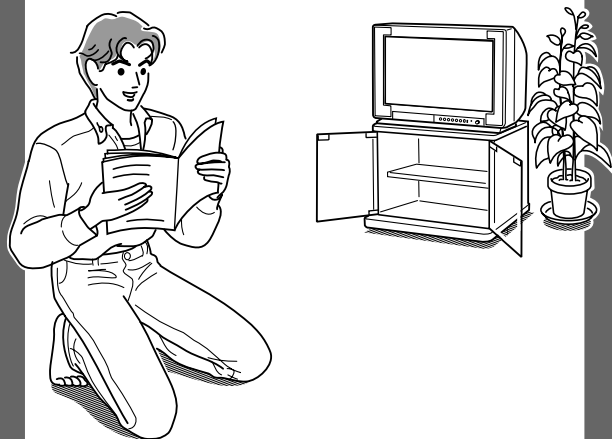
省電力のため、放送終了後、または放送のないチャンネルにしたままの状態で、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。
同様に、つないだ機器からの信号がないままの状態（外部入力無信号状態）のときに、自動で電源をオフ（スタンバイモード）にするよう設定できます。
お買い上げ時は、「入」に設定されています。
「切」にして自動で電源をオフにしないようにすることもできますが、省電力のため、通常は「入」のままで使うことをおすすめします。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「外部入力オートシャットオフ」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

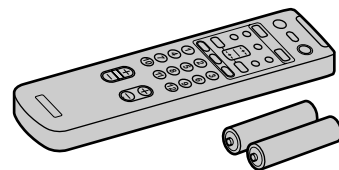
ご注意

外部入力オートシャットオフが「入」のときは、つないだ機器からの映像入力信号がなくなると、数秒後音声も出なくなります。
テレビのスピーカーでつないだ機器から入力される音声信号だけを聞くときは、必ず、外部入力オートシャットオフを「切」に設定してください。

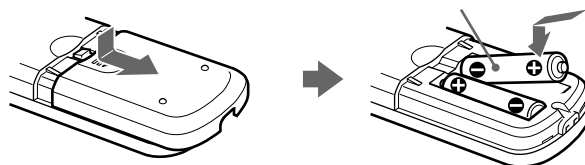
テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定を説明しています。
手順1〜3（☞21〜26ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞29ページ）をご覧ください。

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン（1個）と
単3形乾電池（2個）

取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

テレビの転倒を防ぐために

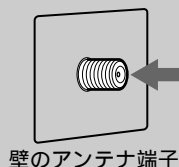
本機をテレビスタンドに載せるときは、お子様が本機に登ったりすると、本機がテレビスタンドから落ちる恐れがあります。
下記を使って転倒を防いでください。

- テレビスタンド固定ベルト（別売り）
  BLT-R10*
- 固定ベルト付属のテレビスタンド（別売り）
  KV-24DA1: SU-25F*、SU-FV25*
  KV-28DA1: SU-28V*、SU-FV29*

手順1:
テレビアンテナをつなぐ

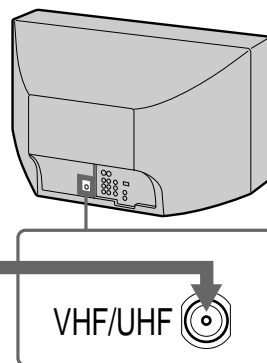
テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

VHF/UHF混合、またはVHF、またはUHF

壁のアンテナ端子

同軸ケーブル（別売りEAC-315*など）

そのままつなぎます。

同軸ケーブル（別売りEAC-230*、250*など）

VHF/UHF用アンテナコネクター（別売りEAC-35B*など）

VHF/UHF

つなぎかた

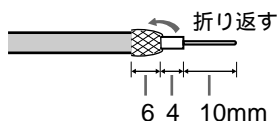
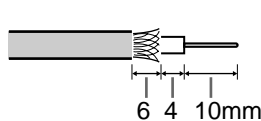
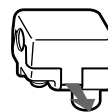
1 同軸ケーブルの芯線とアミ線を出す

EAC-230*など3C-2Vの場合

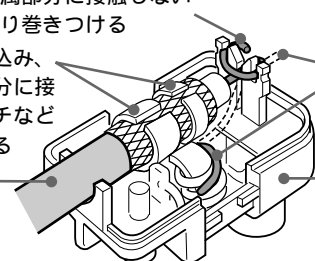
折り返す

6 4 10mm

EAC-250*など5C-2Vの場合

6 4 10mm

2 VHF/UHF用アンテナコネクターの両側を広げてふたを開ける

3

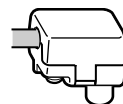
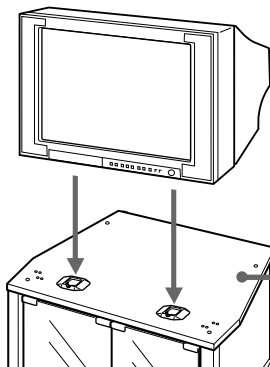
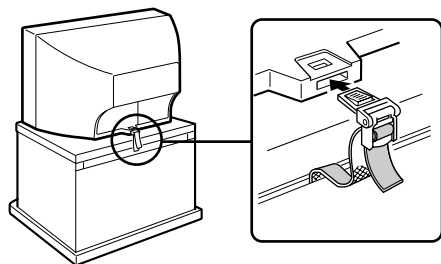
③芯線を他の金属部分に接触しないようにしっかり巻きつける

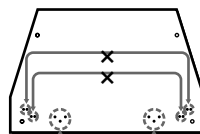
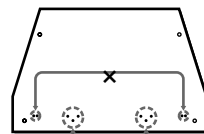
②同軸ケーブルを差し込み、アミ線が他の金属部分に接触しないようにペンチなどでしっかり締めつける

①点線部分のリード線をはずし、金属部分に接触しないように折り返す

同軸ケーブル

VHF/UHF用アンテナコネクター

4 ふたを閉める

テレビの接続と準備

テレビスタンドのストッパーに、テレビ下面の足部を合わせて載せる。

KV-28DA1を固定ベルト付属のテレビスタンド（別売り）SU-FV29*に載せるとき

KV-24DA1を固定ベルト付属のテレビスタンド（別売り）SU-FV25*に載せるとき

テレビスタンドSU-FV29*付属のストッパー（B） KV-28DA1用取り付け位置

テレビスタンドSU-FV25*付属のストッパー（B） KV-24DA1用取り付け位置

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ご注意
KV-28DA1、KV-24DA1用以外の取り付け位置や、ストッパー（B）以外のストッパーでは、テレビが固定されません。必ず正しい取り付け位置とストッパーを使用してください。

次のページにつづく

ご注意

フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線でつなぐときは、テレビからできるだけ離してください。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

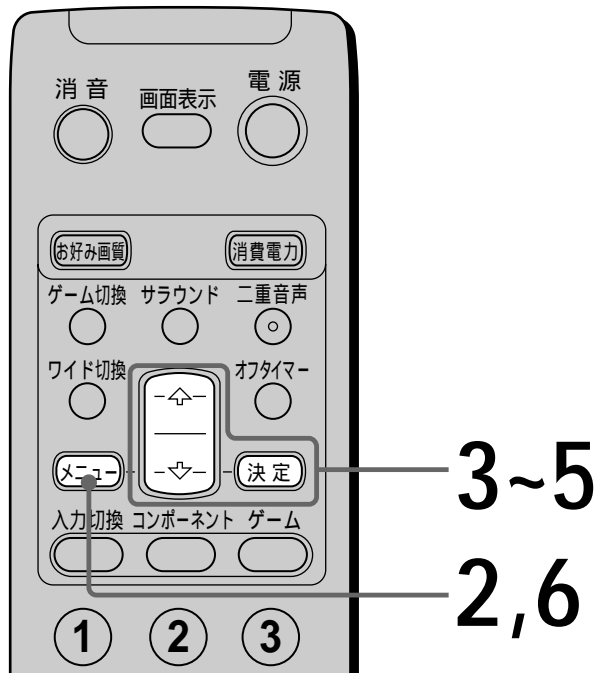
テレビは壁から10cm以上離して設置してください

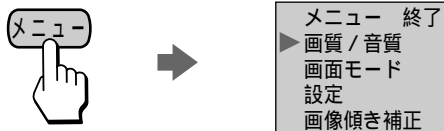
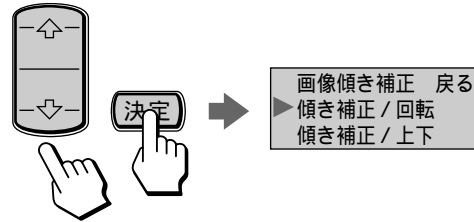
壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

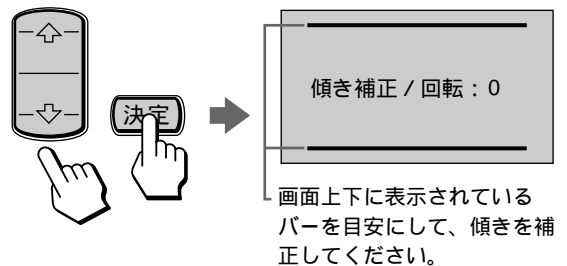
手順2:
地磁気による画像の傾きなどを補正する

地磁気など磁界によって発生する画像の傾きや画面上下位置のずれを補正できます。これらの症状は、テレビ本体の故障ではありません。
また、正常に画像が映っているときは、補正する必要はありません。

補正される前に確認してください。

- 外部のスピーカー（防磁型も含む）は、テレビから30cm以上離して置いてください。スピーカーの磁気により、うまく補正されなかったり、スピーカーから雑音が出たりするためです。
- 強い磁界（高圧電線や電車、鉄筋コンクリート、鉄製機材の近辺など）では、うまく補正されないことがあります。このときは、磁界の影響を受けない場所に設置されるか、ソニーサービス窓口やお買い上げ店などにご相談ください。

1 電源を入れる。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「画像傾き補正」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「傾き補正/回転」または「傾き補正/上下」を選び、決定ボタンを押す。

画像が傾いているときは「傾き補正/回転」を、画面の上下位置がずれているときは「傾き補正/上下」を選びます。
補正中はワイド画面の画面モードが強制的に「フル」に切り換わります。

5 ↑/↓で調整する。

手順4で「傾き補正/回転」を選んだとき

画面上下のバーができる限り水平になるようにします。数値は－3～＋3の範囲で変わります。

手順4で「傾き補正/上下」を選んだとき

画面の上下のバーが、画面の上下の端から、できるだけ均等になるように、位置を補正します。数値は－3～＋3の範囲で変わります。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ワイド画面の画面モードは元の設定（オートワイドなど）に戻ります。

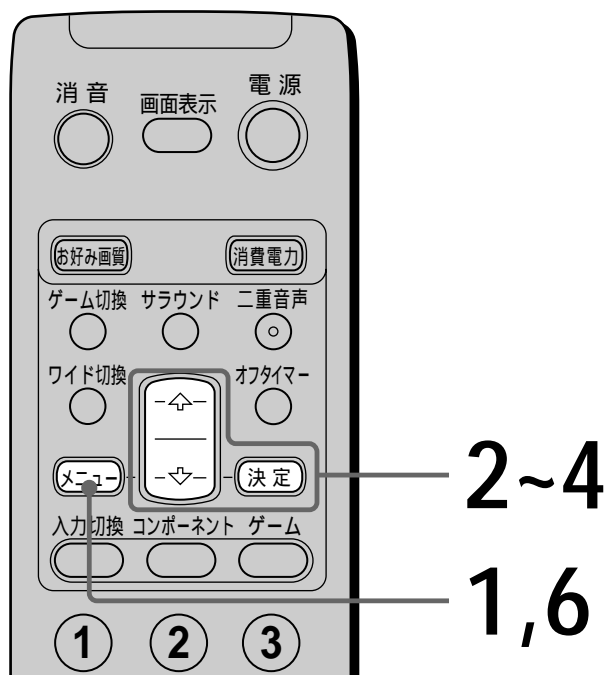
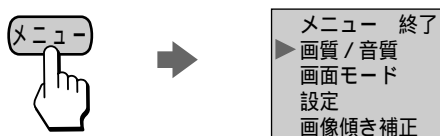
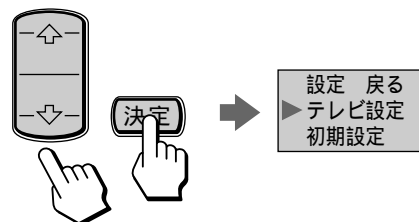
ご注意

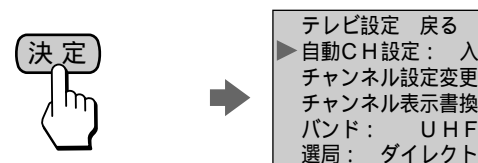
うまく補正しきれないときは、いったんテレビの電源を切り、設置の場所を変えるか、テレビの向きを変えてから、もう1度、傾き補正の手順を行ってください。
電源を切らずに移動したり、向きを変えたりすると、補正がうまくされなかったり、色むらを起こす原因になります。
色むらが出たときは、移動したり、向きを変えたあとに、いったん電源を切って30分以上待ってから電源を入れてください。または、電源を入れたままで30分以上待ってから、いったん電源を切って、もう1度、電源を入れ直してください。

手順3:チャンネルを設定する

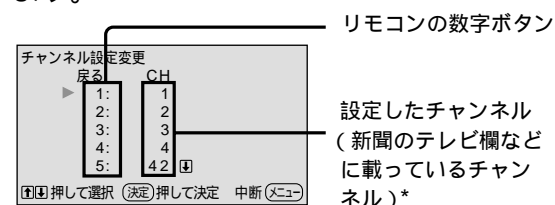
VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。
放送のある時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞29、30ページをご覧ください。

1 VHF/UHF**の放送を映して、メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **▶が「テレビ設定」の左側に表示されていることを確認した後、決定ボタンを押す。**

4 **▶が「自動**CH**設定」の左側に表示されていて、「入」になっていることを確認した後、決定ボタンを**2**回押す。**

「切」になっているときは、決定ボタンを1回押した後、↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

5 **設定されたチャンネルを確認する。**

手動で設定し直したいときは

☞25ページをご覧ください。

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

チャンネル設定を途中でやめるには

手順4で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、メニューボタンを押す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13〜C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。
詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 ダイレクト選局になっていることを確認する（☞27ページ）。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

8 ↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

9 ↑/↓で「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例：C24

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞27ページ）をするときは、上記で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1〜12のチャンネル数字ボタンのすべてを、手動で設定できます。

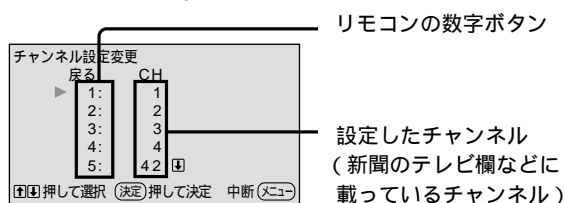
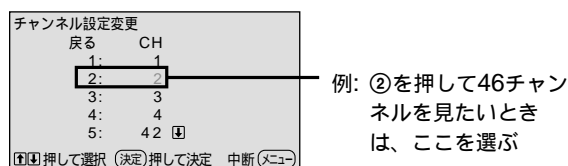
リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

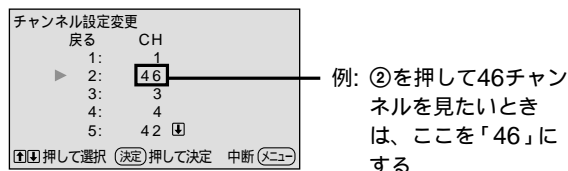
1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

テレビの接続と準備

手順3:
チャンネルを設定する（つづき）

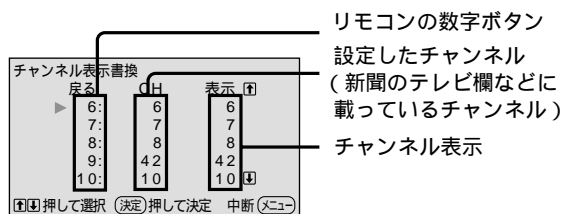
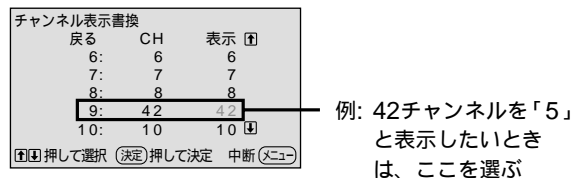
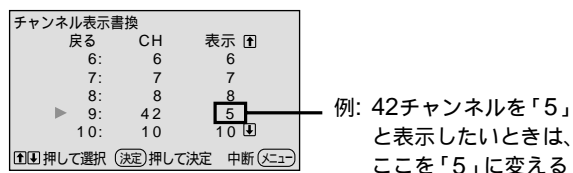
チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓でチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。

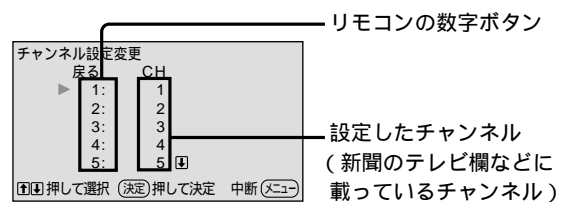
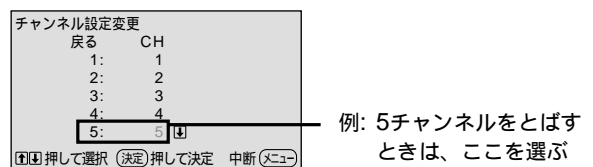
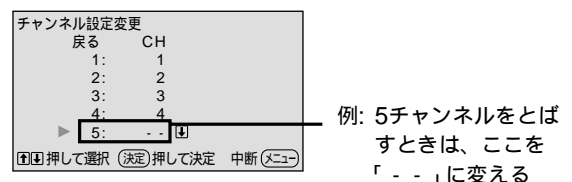
放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋/−ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

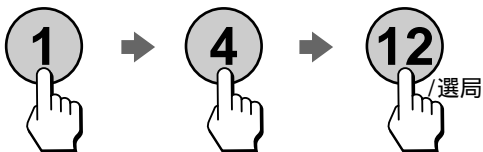
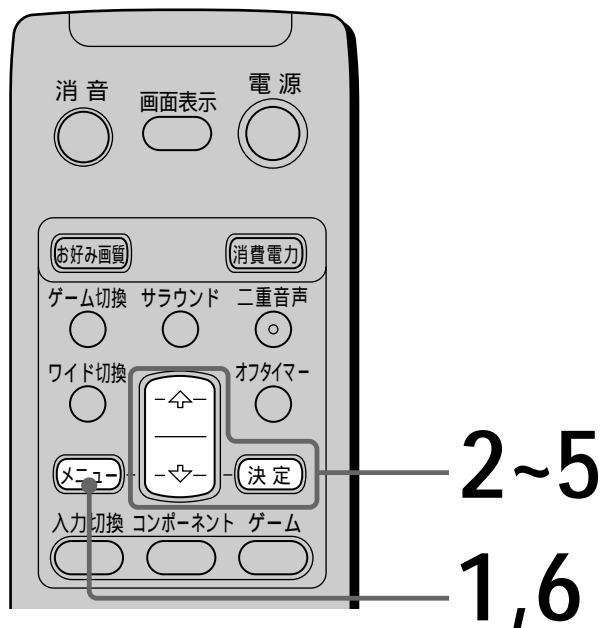
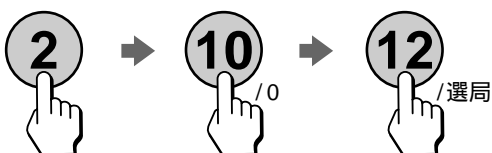
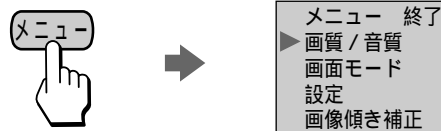
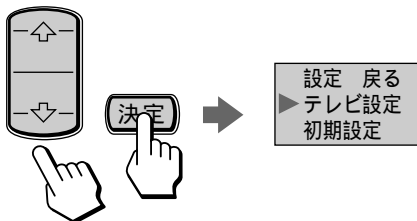
2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

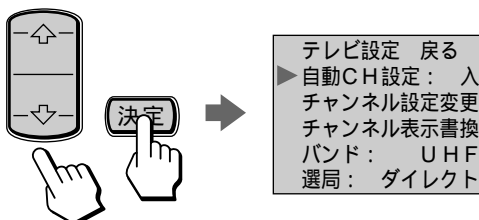
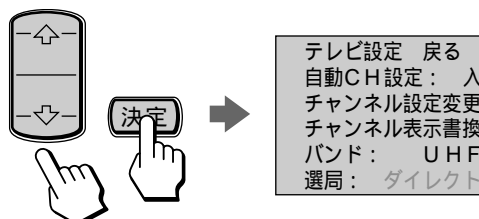
4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓でとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「CH」を「−−」に変えて、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

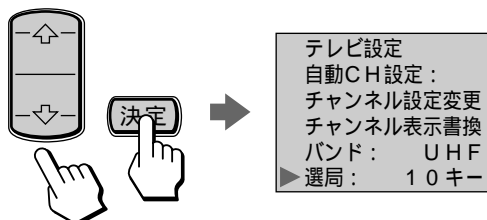
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ（10キー選局）

お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大12局です。
そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が12局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、⑫（=選局）ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

例） 14**チャンネル**

20**チャンネル**

1 **メニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。**

次のページにつづく

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ（つづき）

5 **↑/↓で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ダイレクト選局に戻すには

手順5で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する（☞24ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順3の後に下記の操作をした後、手順4以降を行ってください。
  1. ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2. ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3. 手順4以降を行う。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1～12チャンネルが順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

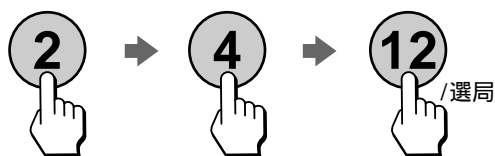
1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

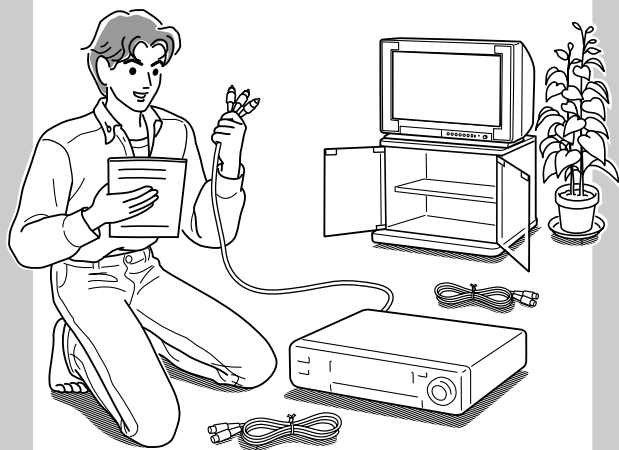
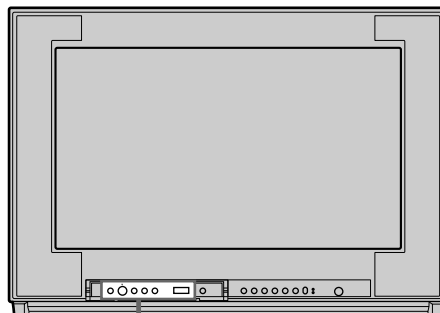
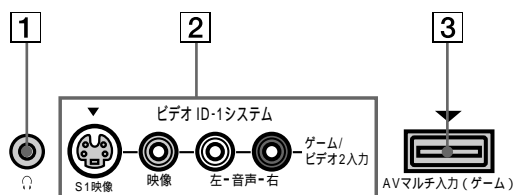
5 **見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

例：24チャンネルのとき

6 **↑/↓で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「－－」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **複数のチャンネルを設定するときは、手順5と6をくり返す。**

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞20ページ）をご覧ください。

接続端子の名前とはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

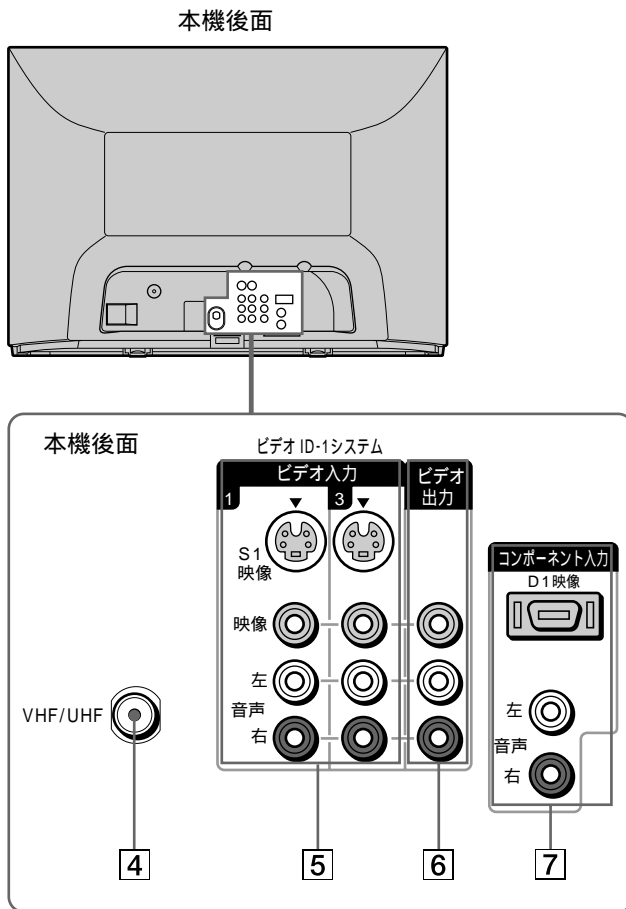
1 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

2 **ゲーム/ビデオ2入力端子（S1映像/映像/音声）（ID-1システム）（☞36ページ）**
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

3 **AVマルチ入力（ゲーム）端子（☞35ページ）**
別売りのAVマルチケーブル（VMC-AVM250*）を使って、“ プレイステーション 2 ”または“ プレイステーション（PS one）”および“ プレイステーション ”のAVマルチ出力端子につなぎます。RGB、Y/CB/CR接続になり、高画質な映像でゲームを楽しめます。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

接続端子の名前とはたらき（つづき）

本機後面

☞のページに詳しい説明があります。

4 **VHF/UHFアンテナ端子（☞21〜22ページ）**
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

5 **ビデオ1、3入力端子（S1映像/映像/音声）（ID-1システム）（☞31ページ）**
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

6 **ビデオ出力端子（映像/音声）**
ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
VHF/UHF、ビデオ1*[1]〜3入力、AVマルチ（RGB）入力の信号を出力します。
*[1] ただし、ビデオ1入力の信号については、メニューの「初期設定」の「ビデオ出力設定」で出力されるように設定する必要があります（☞31ページ「ビデオ1入力の信号をビデオ出力端子から出力するときは」）。

ご注意
コンポーネント入力端子と、AVマルチ入力（Y/CB/CR）につないだ機器の映像信号は出力しません。

7 **コンポーネント入力端子（D1映像/音声）（☞32、33、36ページ）**

D1映像入力端子
BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどのD映像出力端子につなぎます。

D端子について
BSデジタル放送*[2]には次のような信号フォーマットがあります。
*[2] BSデジタル放送の受信には、別途、BSデジタルチューナーが必要となります。

信号フォーマット	有効走査線数	走査線数
480i (525i)	480本	525本
480p (525p)	480本	525本
1080i (1125i)	1080本	1125本
720p (750p)	720本	750本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です。（☞44ページ）
（ ）内は走査線数で数えたときの別称です。

BSデジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	480i	480p	1080i	720p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×

本機にはD1映像入力端子がついています。BSデジタルチューナーの出力設定については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

音声入力端子
BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

Ｓ1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

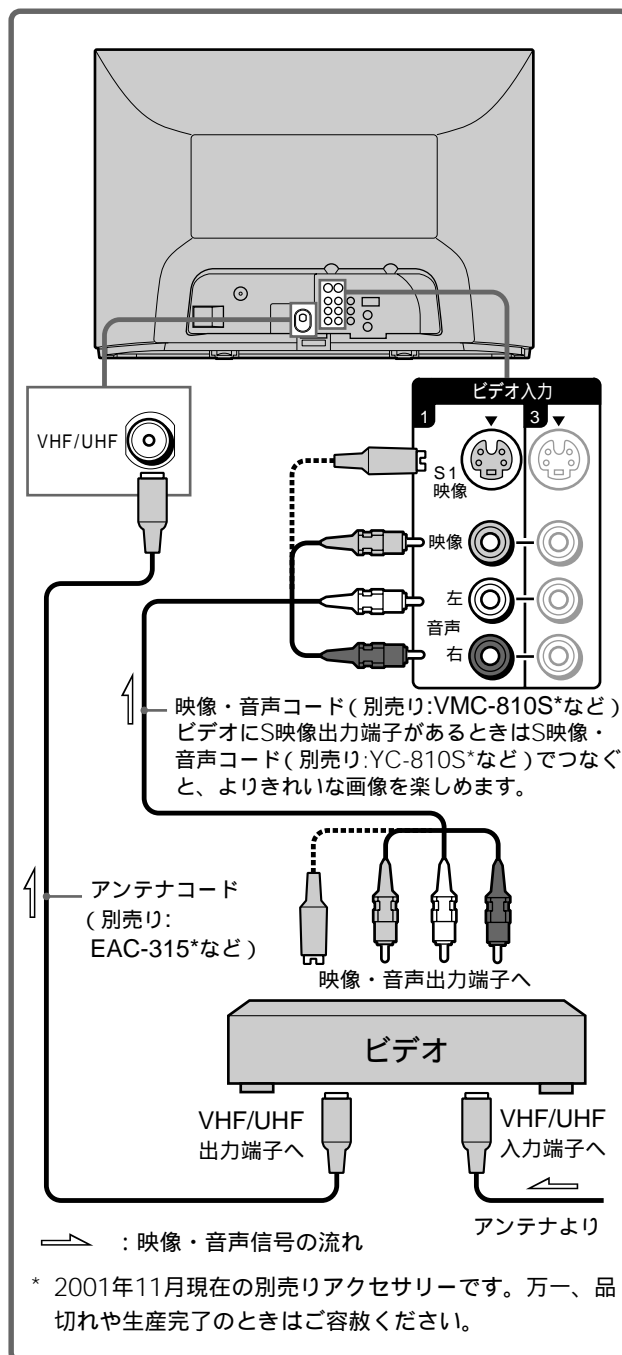
よりよい画質でご覧いただくために、つなぐ機器にS映像端子がある場合はS1映像端子につないでください。
Ｓ映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

ご注意
本機ビデオ1、3入力またはゲーム/ビデオ2入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

ビデオ1入力の信号をビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、ビデオ出力端子から出力されないようになっています。
そのため、ビデオ出力端子につないだオーディオ機器などで、ビデオ1入力の音声を楽しむときなど（☞37ページ）は、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がビデオ出力端子から出力されます。

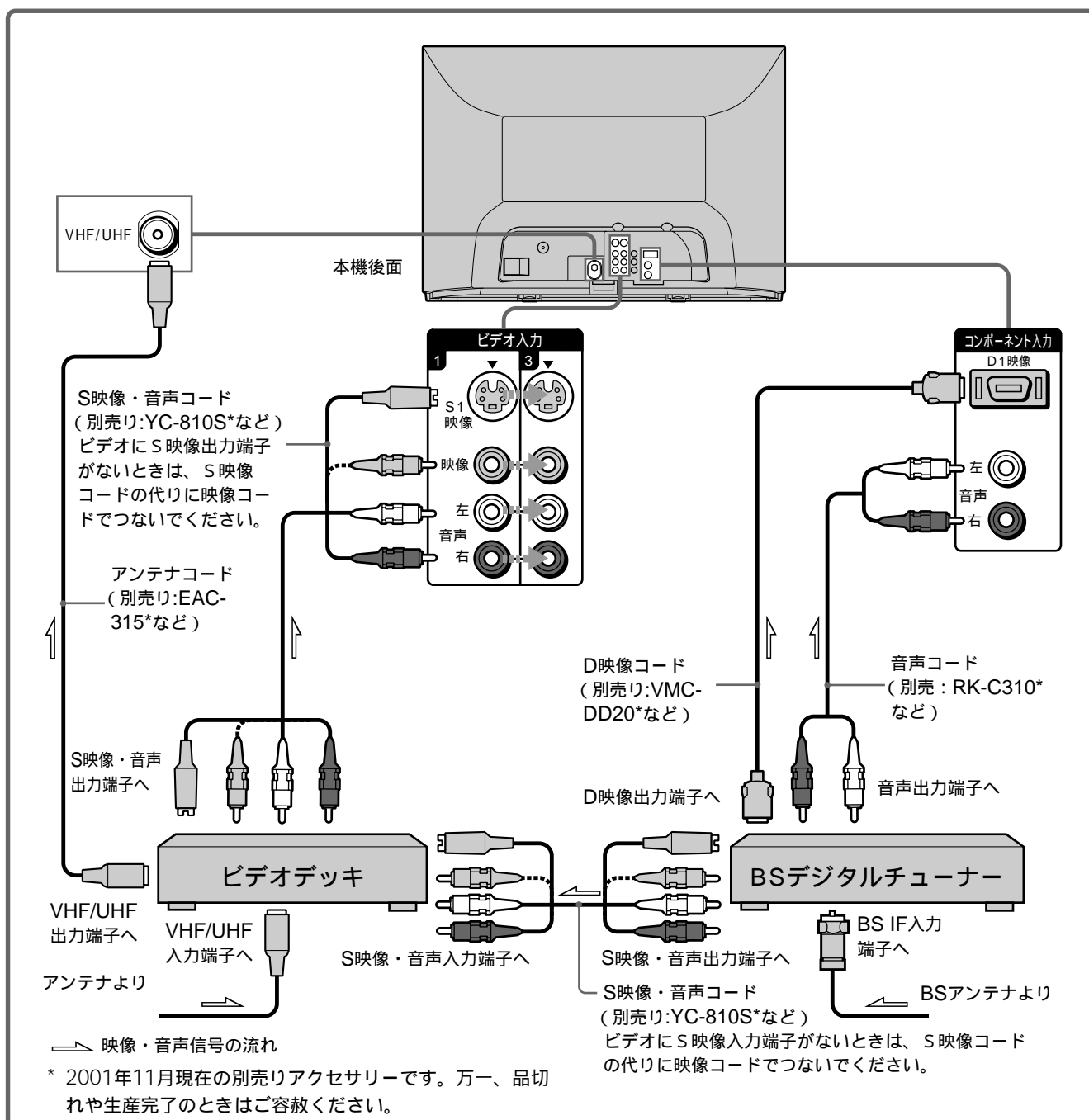
1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「ビデオ出力設定」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「ビデオ1あり」を選び、決定ボタン を押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

＊ 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ビデオを見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。詳しくは、☞9ページをご覧ください。

ご注意
テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたゲーム/ビデオ2入力端子またはビデオ3入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです。

BSデジタルチューナーをつなぐ

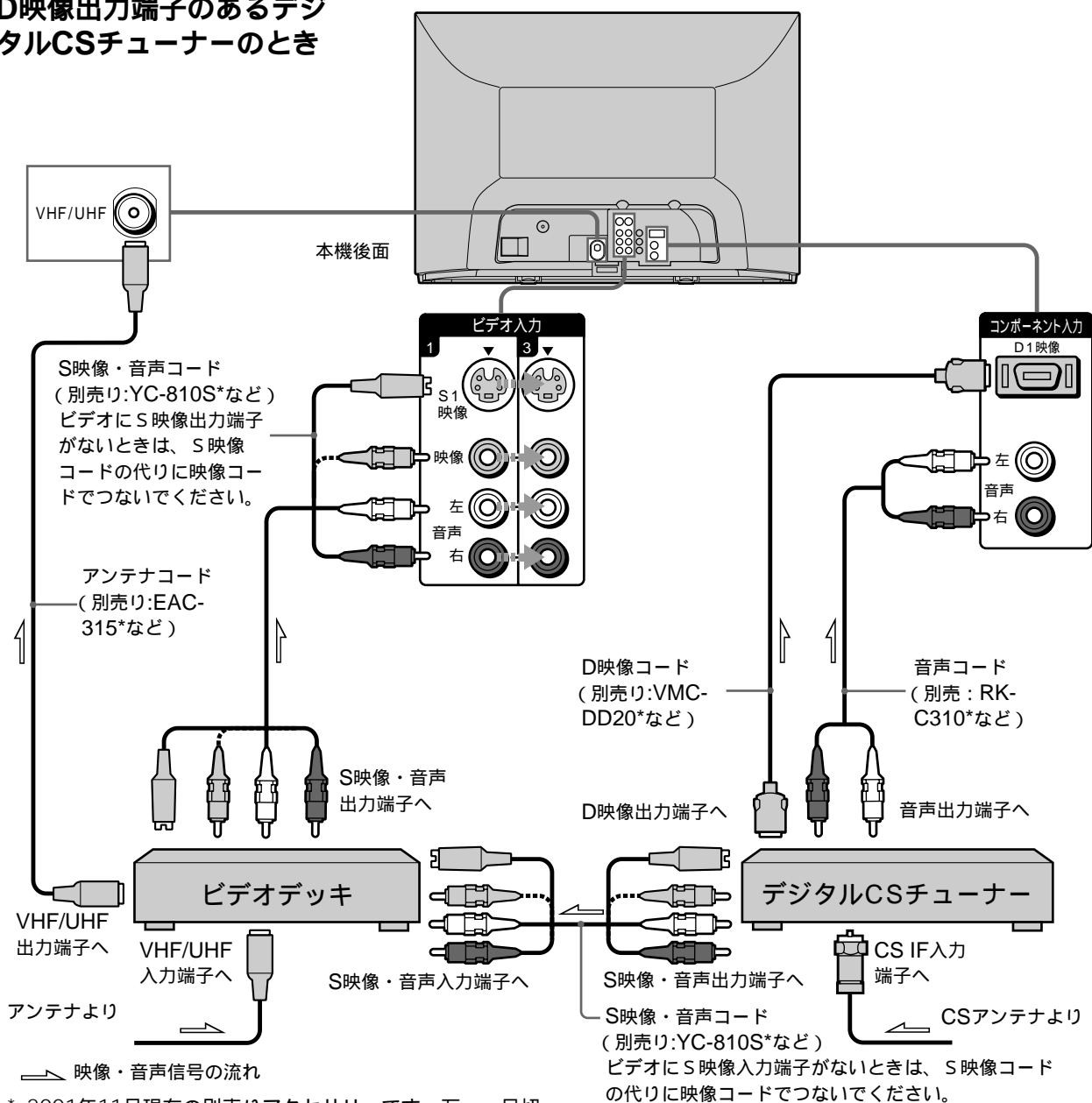
2000年12月から放送が開始されたBSデジタル放送を見るには、BSデジタルチューナーが必要です。
BSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSデジタル放送を見るには

コンポーネントボタンを押して、BSデジタルチューナーをつないだコンポーネント入力（「Dコンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞9ページをご覧ください。

ご注意

本機にはD1映像入力端子がついています。BSデジタルチューナー側でD1端子に合った設定にしてください。詳しくは、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンを押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力（「Dコンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞9ページをご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ（つづき）

デジタルCS放送を見るには

入力切換ボタンを押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞9ページをご覧ください。

“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”をつなぐ

本機前面のAVマルチ入力（ゲーム）端子に
“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”(PS one) および
“プレイステーション”をつなぎます。
RGB、Y/CB/CR接続になり、よりきれいな画像でゲームを楽しむことができます。
“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”(PS one) および
“プレイステーション”の取扱説明書もあわせて、お読みください。

ご注意
“プレイステーション 2”の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250*）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y Cb/Pb Cr/Pr）に固定されるため、画面が乱れる場合があります。
このときは、「別売のマルチAVケーブルでつなぐ」の手順に従って「AVマルチ切換」を「Y/CB/CR」に設定してください。
詳しくは、“プレイステーション 2”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

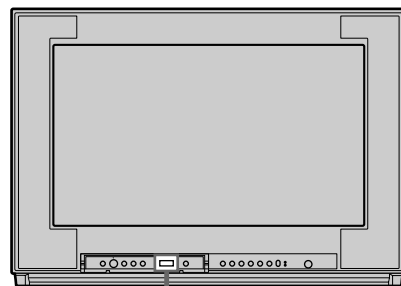
株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
ナビダイヤル 0570-000-929
携帯電話・PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00〜18:00（土日祝日を除く）

“プレイステーション”は 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
また、“PS one”は同社の商標です。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

別売のマルチAVケーブルでつなぐときは

RGB接続またはY/CB/CR接続になり、高画質な画像でゲームを楽しめます。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

“プレイステーション 2”側の映像出力の設定に合わせて、本機の「AVマルチ切換」を切り換えてください。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「AVマルチ切換」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「RGB」または「Y/CB/CR」を選び、決定ボタンを押し、画像が出ることを確認する。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ちょっと一言
AVマルチ入力（ゲーム）端子は、RGB、Y/CB/CR映像信号のため、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広くなっています。色あいが異なる場合がありますが、本機に影響はありません。

“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”を使うには

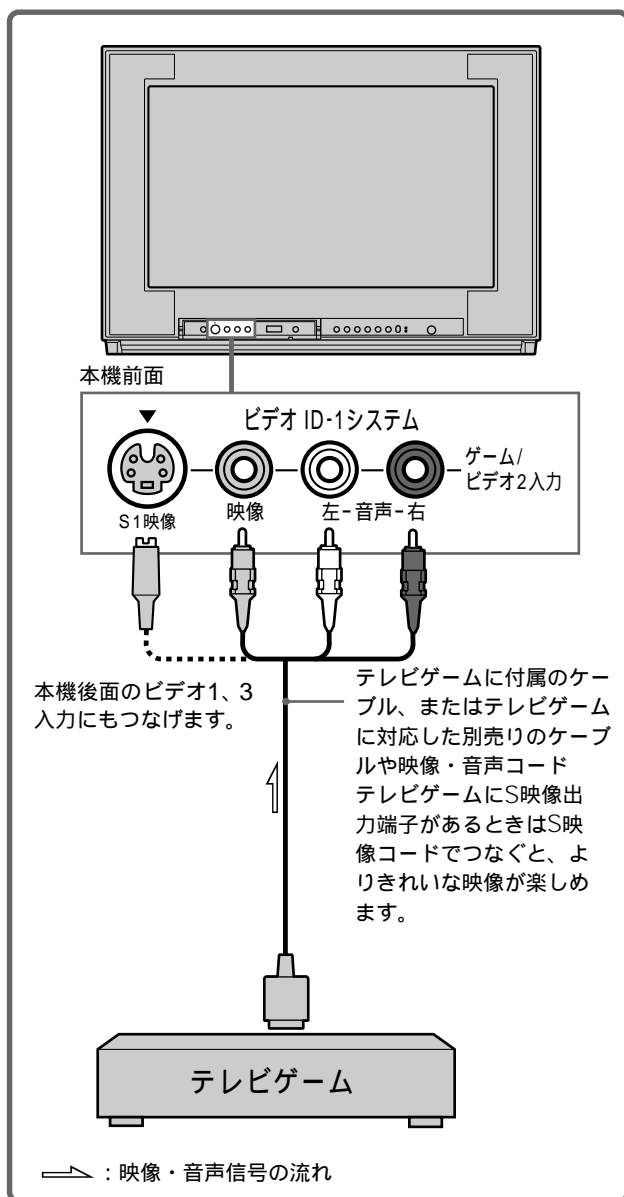
ゲーム切換ボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだ入力（「AVマルチ（ゲーム）」）を表示させる。
詳しくは、☞11ページをご覧ください。

ご注意
将来の“プレイステーション 2”用の高解像度ゲームソフトなどには、本機は対応していません。詳しくは、各ソフトウェアの解説書をご覧ください。

他機との接続

次のページにつづく

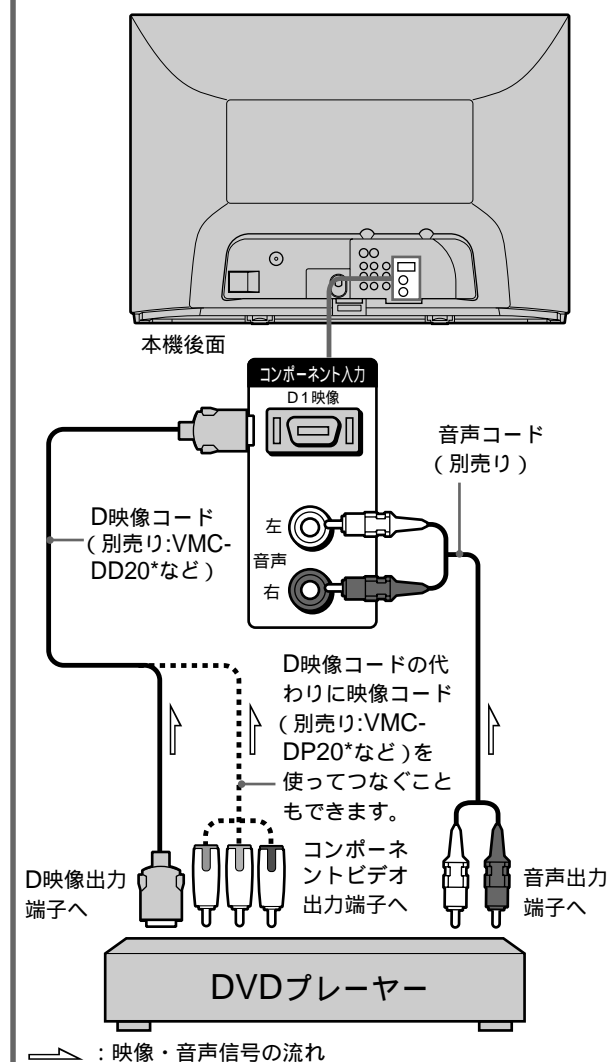
その他のテレビゲームなどをつなぐ

本機前面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビゲームをするには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだ入力（「ゲーム」）を表示させる。
詳しくは、☞11ページをご覧ください。

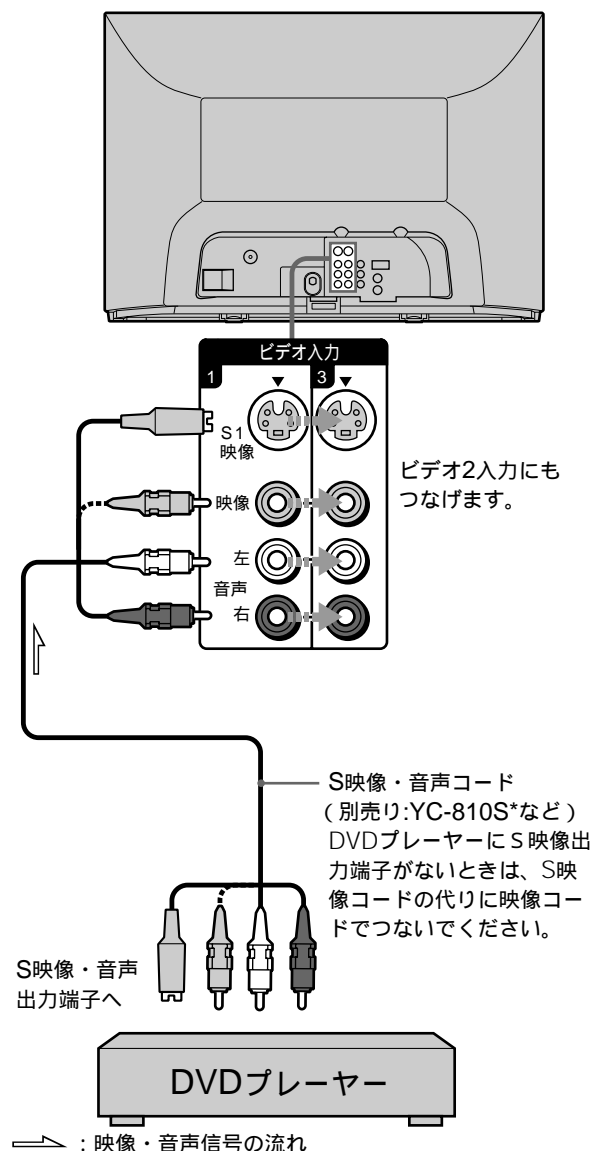
DVDプレーヤーをつなぐ

D端子または、コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーは本機のコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

D端子またはコンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ちょっと一言

本機にはD1映像入力端子がついています。DVDプレーヤーの出力設定については、DVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVD**プレーヤーのときは**

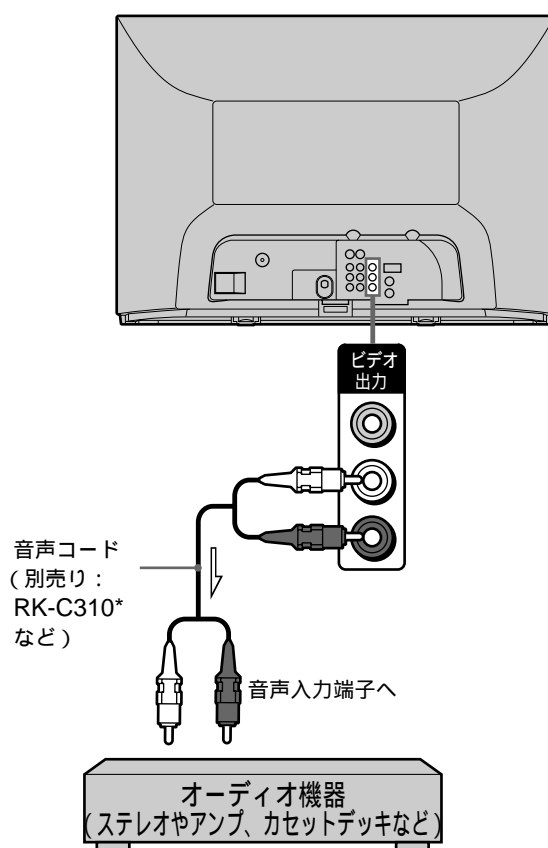
コンポーネントボタンを押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力（「Dコンポーネント」）を表示させる。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVD**プレーヤーのときは**

入力切換ボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ3」のいずれか）を表示させる。

詳しくは、☞9ページをご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。
オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

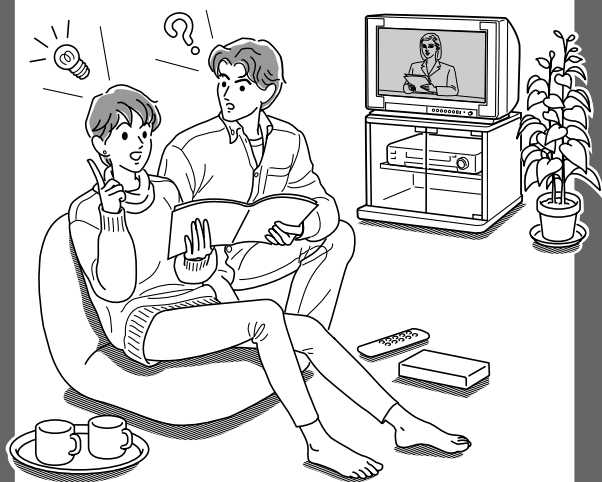
ご注意

コンポーネント入力につないだ機器の音声信号も出力できます。ただし映像信号は出力されません。

ちょっと一言

お買い上げ時は、ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声信号は出力しない設定になっています。ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声を出力するときは、メニューの「初期設定」で、「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」にしてください（☞31ページ）。

その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：

ケーブイ　ディーエー　ケーブイ　ディーエー
KV-24DA1, KV-28DA1

画面サイズ（番号）がどれかわからないときは、保証書に記載されている型名をお知らせください。

リモコンの型名：

アールエム　ジェイ
RM-J240

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合もあります。

スタンバイ/オフタイマーランプ（赤）

1. スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2. テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数を知らせてください。

本機の症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	**すべてのチャンネルが映らない。**	• 電源コードをしっかりつないでください。 • テレビ本体の電源を入れてください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	• チャンネルを合わせ直してください（☞24ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	• テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態で約10分過ぎると、また、つないだ機器からの入力信号がないときに自動で電源オフをする設定をしていると（☞19ページ）、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 • オフタイマーを設定していませんでしたか？（☞19ページ）。
	つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードをしっかりつないでください。 • リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞9〜10ページ）。 • "プレイステーション 2"をAVマルチ入力端子につないでいるときは、"プレイステーション 2"のコンポーネント映像出力の設定が「RGB」と「Y Cb/Pb Cr/Pr」のどちらに設定されているかを確認し、本機の「AVマルチ切換」を「RGB」または「Y/CB/CR」に切り換えてください（☞35ページ）。
きれいに映らない	**画像が二重、三重になる。**	• アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	• アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください（通常3〜5年、海辺では1〜2年）。
	斑点や点模様が走る。	• ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(☞6ページ)。 • メニューの「画質/音質」で画質を調整してください（☞15ページ）。 • 「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります（☞7ページ）。
	画面がまぶしい。	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞6ページ）。
	画面の一部に色むらがある。	• テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 • テレビをしばらく見た後、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。

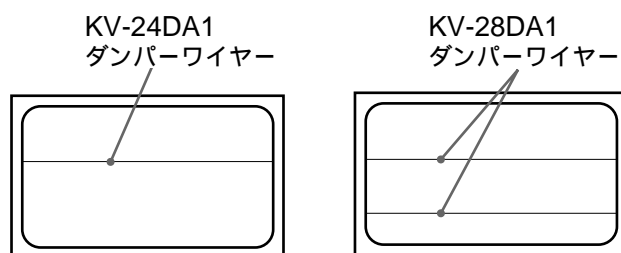
故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
きれいに映らない	**画像が傾いている、上下にかたよっている。**	• メニューの「画像傾き補正」で「傾き補正/回転」と「傾き補正/上下」を調整してください（☞23ページ）。 • 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、磁界の影響のためうまく補正されないことがあります。このときは、ソニーサービス窓口またはお買い上げ店などにご相談ください。 また、テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーからテレビを離して置いてください。
	縞状のノイズが多い。	• アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。	• ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション　2”や“プレイステーション”（PS one）および“プレイステーション”の画像がずれる。	• メニューの「ゲーム画面位置」で調整してください（☞11ページ）。
音が出ない／雑音が多い	**画像は出るが、音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか、音量+ボタンを押して表示を消してください。 • ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	• アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 • メニューの「設定」の「初期設定」で「オートステレオ」を「切」にしてください（☞17ページ）。
ワイド画面が切り換わる	**オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。**	• CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断しているためです（☞8ページ）。 • 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです（☞8ページ）。 • オートワイドが働いているときに、ワイド切換ボタンでワイド画面を切り換えていませんか。チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的にワイド画面に切り換わります。ワイド切換ボタンで切り換えた画面モードで固定したいときは、オートワイドを「切」にしてください（☞14ページ）。
テレビから異音がする	**「ピシッ」というきしみ音が出る。**	• 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	• 地磁気などの影響を取り除く消磁回路の動作音です。ソニーのテレビは、トリニトロン管を使用しているため、音が大きく感じられることがありますが、異常ではありません。ご安心ください。

症状		対処のしかた
テレビから異音がする	**テレビの後ろからパチパチ音がする。**	• テレビ内部で発生する静電気が原因です。
画面が一瞬光る	**暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。**	• ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。本機の性能その他に影響はありません。
リモコンが働かない	**リモコンで操作できない。**	• 電池を交換してください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • 本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、離して置いてください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞27ページ）** • メニューの「設定」の「テレビ設定」の「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞27ページ）** • メニューの「設定」の「テレビ設定」の「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 • 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 • チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。

画面に細い横線が出たら（ダンパーワイヤー）

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は下図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャーグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。

その他

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-24DA1、KV-28DA1

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ブラウン管表面のお手入れについて

ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナー、または研磨剤の入っていない中性洗剤を水で薄め、柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。
表面を傷つけることがあるため、固い布の使用や、から拭きはやめてください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も使わないでください。

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式

受信チャンネル　VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
CATV C13〜C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）

ブラウン管*1　KV-24DA1:FDトリニトロン102度偏向24型
KV-28DA1:FDトリニトロン102度偏向28型

*1 テレビの型（24型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

画面寸法　KV-24DA1:48.9×27.6、55.9cm対角
KV-28DA1:57.5×32.4、66cm対角
（幅×高さ、対角径）

使用スピーカー　8cm丸×2

音声出力　実用最大:5W×2（EIAJ）

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF 75Ω F型コネクター

ビデオ1、3入力端子、ゲーム/ビデオ2入力端子
S1映像:4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像:　ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声:　ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ

コンポーネント入力端子
D1映像:Y:1Vp-p（0.3V負同期付き）
CB/CR:±350mVp-p、入力インピーダンス 75Ω
音声:　ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

AVマルチ入力（ゲーム）端子
12ピン

ビデオ出力端子　映像:　ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声:　ピンジャック、2チャンネル、500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時の数値です。

ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上

電源部・その他

消費電力　KV-24DA1:98W
（リモコン待機時0.1W）
KV-28DA1:135W
（リモコン待機時0.1W）

年間消費電力量*2
KV-24DA1:120kWh/年
KV-28DA1:145kWh/年

*2 年間消費電力量とは:省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4〜5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　KV-24DA1:63.5×44.2×46.5cm
KV-28DA1:72.9×49.6×50.2cm
（幅×高さ×奥行き）

質量　KV-24DA1:約31.1kg
KV-28DA1:約44.4kg

電源　AC100V、50/60Hz

付属品　リモートコマンダー　RM-J240（1）
乾電池　単3形（2）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

テレビスタンド　KV-24DA1:SU-25F*3
KV-28DA1:SU-28V*3、SU-FV29*3

ステレオヘッドホン MDR-AV305*3

AVマルチ入力（ゲーム）端子専用のマルチAVケーブル
VMC-AVM250*3

接続ケーブルなど

*3 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- WOWとTruSurroundはSRS Labs, Inc.の商標です。WOWとTruSurroundはSRS Labs, Inc.からのライセンスにより製品化されています。
- 本機は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

サ行

シネマビジョン

画面の横縦比が2.35:1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビチューナーを内蔵しています。

デジタルCS**放送**

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

ハ行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ヤ行

有効走査線数

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

数字・アルファベット順

BS**デジタル放送**

2000年12月に本放送開始予定の放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。
BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタルチューナーが必要となります。

D**端子**

将来予定されているBSデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。BSデジタル放送受信アダプターなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。本機にはD1入力端子が付いています。

- D1端子:480i（525i）の信号に対応
- D2端子:480i（525i）と480p（525p）の信号に対応
- D3端子:480i（525i）と480p（525p）、1080i（1125i）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は走査線数で数えたときの別称です。

ID-1**方式（ビデオ**ID-1**システム）**

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。

NTSC**方式**

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

S1**方式**（S1**映像**）

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムの名前です。本機はS1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。
ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前/
Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel

次のページにつづく

その他

リモコン/Remote Control

ちょっと一言
*の付いたボタン（チャンネル数字ボタンは「5」のみ）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

メニュー一覧

- メニューは▲/▼で選び、決定ボタンで決定します。
- ▶（カーソル）のある部分、または赤で表示される部分が選ばれています。

その他

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax ………………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/

Printed in Malaysia

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管方式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。